

2012



国産万年筆研究の課題 小池淳一

多摩川流域の後・終末期古墳 広瀬和雄

【研究ノート】

古墳時代の日朝関係史と国家形成論をめぐる考古学史的整理 高田貫太

【資料紹介】

史料紹介一田中本

「実隆百首并後成恩寺殿三十三回忌追善一品経和歌」紙背文書 高橋一樹

『国立歴史民俗博物館研究報告』（第151集～第170集）総目次

国立歴史民俗博物館 研究報告

第170集
平成24年3月

Bulletin of
the National Museum
of Japanese History

**国立歴史民俗博物館
研究報告
第170集**

国立歴史民俗博物館研究報告 第170集

目 次

国産万年筆研究の課題	小池淳一	1
多摩川流域の後・終末期古墳 7世紀における東国地域の一動態	広瀬和雄	19
[研究ノート]		
古墳時代の日朝関係史と国家形成論 をめぐる考古学史的整理	高田貫太	69
[資料紹介]		
史料紹介一田中本「実隆百首并後成恩寺殿 三十三回忌追善一品経和歌」紙背文書	高橋一樹	97
『国立歴史民俗博物館研究報告』(第151集～第170集)総目次		87

Contents:

KOIKE Jun'ichi	Project on Study of Japanese Fountain Pen	1
HIROSE Kazuo	Burial Mounds in the Tama River Basin in the Late or End Kofun Period : Dynamics of the Togoku Region in the 7th Century	19
Research Notes		
TAKATA Kanta	History of the Japan-Korea Relationship in the Tumulus Period and Organization from an Archaeologically Historical Perspective on the State Formation Theory	69
Research Materials		
TAKAHASHI Kazuki	Introduction to Historical Materials: Tanaka Book "Sanetaka Hyakushu and Ippon Gyo Waka for the Memorial Service at the 33rd Anniversary of Gojonji-dono's Death", Shihai Monjo	97
Contents of "Bulletin of the National Museum of Japanese History" vol.151~vol.170		87

『国立歴史民俗博物館研究報告』寄稿要項

- 1 国立歴史民俗博物館研究報告（以下「研究報告」という）は、歴史学、考古学、民俗学及びそれらの協業による広義の歴史学並びにそれらに関連する諸分野に関する論文、研究ノート、資料紹介、調査研究活動報告を掲載・発表することにより、それらの学問の発展に寄与するものである。
- 2 研究報告に寄稿することができる者は、次のとおりとする。
 - 一 国立歴史民俗博物館（以下「博物館」という。）の教職員（客員教員を含む。）
 - 二 運営会議委員
 - 三 名誉教授
 - 四 博物館が受け入れた各種研究員及び研究協力者
 - 五 特別共同利用研究員のうち受入れ期間中の研究成果の発表を希望する者で、指導教員が推薦した者
 - 六 博物館の館蔵資料を調査・研究し、その成果をまとめた者
 - 七 その他博物館において適当と認めた者
- 3 寄稿する場合は、論文、研究ノート、資料紹介、調査研究活動報告のうち、いずれであるかをその表紙に明記するものとする。なお、この区分についての最終的な調整は、博物館の研究報告編集委員会（以下「委員会」という）において行う。
- 4 原稿執筆における使用言語は、日本語を原則とする。ただし、他の言語を用いる場合は、日本語の翻訳か抄訳を付ける。
- 5 特殊な文字、記号、印刷方法が必要な場合は、委員会に相談するものとする。
- 6 寄稿する論文には、800字以内の日本語要旨と400語程度の英語要旨を付けるものとする。また、5項目以内のキーワードを付ける。
- 7 寄稿する原稿の分量は刷り上がり40頁(写真・図版・表および論文要旨等も含む)以内に収めること。また、写真・図版等は掲載箇所を指示し、大きさを指定すること。カラー頁は原則として認めない。なお、編集委員会の判断により、全体の分量等の関係から圧縮や分割掲載を指示する場合がある。

1頁あたりの構成：	縦書	32字	27行	2段	(1,728文字)
	横書	44字	37行	1段	(1,628文字)

文字の大きさ ：13Q
大きさの目安 ：版面 横 169mm × 縦 237.5mm（最大）
- 8 写真・図版等の掲載に関する許諾は寄稿者がとること。
- 9 寄稿の際は打ち出し原稿3部及びFD、CD等電子媒体1部を添付すること。
- 10 寄稿された原稿は、委員会において査読者を定め、審査のうえ、採否を決定する。
- 11 寄稿された原稿等は、採否に関わらず返却しない。ただし、写真・版下図版等返却が必要なものは申し出ること。
- 12 『国立歴史民俗博物館研究報告』の編集著作物としての著作権は、大学共同利用機関法人人間文化研究機構にあるが、投稿原稿等の著作権は、各投稿者にある。
- 13 論文要旨および英文要旨については、博物館のホームページに掲載を承諾するものとする。
- 14 機関リポジトリ等への掲載は、研究報告の紙型を用いた場合は研究報告刊行から一年後以降に、また紙型を用いないデータのみの場合は、研究報告奥付日以降に初出を明記した上で掲載をすることができる。
- 15 博物館で作成する抜刷は、100部までとする。
- 16 稿料の支払い、掲載料の徴収は行わない。
- 17 原稿の寄稿先および連絡先は、次のとおりとする。

〒285-8502 千葉県佐倉市城内町 117 番地

国立歴史民俗博物館研究報告編集委員会（代表電話 043-486-0123）

〔国立歴史民俗博物館研究報告編集委員会〕

館外委員（五十音順）

今村 峯 雄 国立歴史民俗博物館名誉教授
小 島 孝 夫 成城大学文芸学部
小 林 謙 一 中央大学文学部
高 木 博 志 京都大学人文科学研究所

館内委員

大久保純一 情報資料研究系
小 倉 慈 司 歴史研究系
小 池 淳 一 民俗研究系
広 瀬 和 雄 考古研究系（編集委員長）
藤尾慎一郎 考古研究系（研究推進センター長）

国立歴史民俗博物館研究報告 第 170 集



平成 24 年（2012） 3 月 30 日 第 1 版第 1 刷発行

（非売品）

発行所



大学共同利用機関法人
人間文化研究機構

国立歴史民俗博物館

〒 285-8502 千葉県佐倉市城内町 117 ☎ 043-486-0123（代）

印刷・製本所



株式会社 弘 文 社

〒 272-0035 千葉県市川市市川南 2-7-2 ☎ 047-324-5977

〔装丁〕 中山銀士

Bulletin of the National Museum of Japanese History



Project on Study of Japanese Fountain Pen
KOIKE Jun'ichi

Burial Mounds in the Tama River Basin in the Late or End Kofun Period :
Dynamics of the Togoku Region in the 7th Century
HIROSE Kazuo

Research Notes

History of the Japan-Korea Relationship in the Tumulus Period and Organization
from an Archaeologically Historical Perspective on the State Formation Theory
TAKATA Kanta

Research Materials

Introduction to Historical Materials :
Tanaka Book "Sanetaka Hyakushu and Ippon Gyo Waka for the Memorial Service at the 33rd Anniversary of
Gojonji-dono's Death", Shihai Monjo
TAKAHASHI Kazuki

Contents of "Bulletin of the National Museum of Japanese History", vol.151~vol.170